

## 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

作成日 平成20年3月25日

事業所番号	2773001066	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	社会福祉法人 太陽社会福祉事業協会		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム サンシャイン	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	大阪市東淀川区大道南1-12-24 電話06-6327-0110	評価調査日	平成20年3月21日
		評価確定日	平成20年3月27日

## 【情報提供票より】(平成20年2月28日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9人
職員数	10 常勤 2人	非常勤 8人	常勤換算 5,8人

## (2) 建物概要

建物の構造	単独型鉄骨ALC 造り 2階建ての(1階~2階部分)
-------	-------------------------------

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	4万円	その他の経費(月額)	7千円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	無			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000円		

## (4) 利用者の概要(12月22日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	79才	最低	57才	最高	90才
(5) 協力医療機関名	医誠会病院				
	清水クリニック 木田デンタルクリニック				

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

設立して4年目の施設で清掃管理が行き届き、明るい感じの建物の2階部分で、ホームの生活が行われ、気付きから始まるベテランのスタッフにより介護計画が生まれ実施している。介護に当たるスタッフは毎月、内部研修があり、又、外部研修を受講した者が、持ち帰った資料を基に講義し、一緒になって研修している。そして、利用者一人ひとりのアセスメント記録が、スタッフのたゆまない取り組みによって蓄積されつつある。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	経営理念の展開として今年度は「ゆったりとした生活」の方針を掲げ、毎日の申し送り、引き継ぎの際の基本として実施されている。利用者一人ひとりの調査記録は、パソコンに蓄積することによって介護計画の基となっており、更に、スタッフの勤続が長くなり、実務による指導も加わり、介護の向上が伺える。地域のボランティアの協力を得て、外出や散歩の機会が増加されるようになっている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者と計画作成者とが協同して原案を作成し、その後、担当職員と協議しながら検討と改善提案を加え、記入をしている。職員の介護レベルのアップを図るため、日常の実務や資料による座学は、随時、職員の繁忙の時間を見計らい、熱心に年間を通じて行っている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4)
	第1回を平成18年3月23日に開催し、第4回を平成20年2月18日に開催しているが、主な討議内容は、ホームでの生活状況の説明、認知症への対応等の説明と、出席者との質疑応答であった。また、ホーム側から、地域の方々への働きかけを、視野に入れた話題も出てきている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	ご家族に関しては、家族アンケートの集計にも表れている通り、安心していらっしゃる様子が伺える。また、ご家族の来訪時には、詳しく生活状況の説明をし、話し合いの時間をゆっくり持って、ご意見を伺っている、苦情は特にお聞きしていない。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議により地域の方々との交流が進められている。利用者は自治会の会員となっているので、地域の行事には、行動に差し支えない方が参加している。また、その他の行事でボランティアの支援もあり、車椅子の方も参加させてもらっている。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆったりとした生活を」、理念として掲示している		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関、事務室等に掲示し、毎朝の引継ぎ時に確認し合っている		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	利用者は全員、自治会の会員となっているので、参加できる方々は各種の行事に出向いて、交流している		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を職員が理解できるように努め、前年度の評価を基に、改善に努めて来ている		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は第1回を18年3月23日に開催し、第4回を20年2月18日に開催して、認知症を中心に、ホームでの日々の生活の様子を説明、質疑討議を実施している		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	提出書類等は、その都度、区役所の担当課を訪問し、面談している		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族の来訪時には、面談で詳しく状況を説明しており、定期的には請求書に適宜、文書を同封して近況を報告している		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時にご意見や苦情があれば承り、改善する事項があれば直ちに実施し、後日、回答をすることについても、必ず実行している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職時には、利用者に影響が出ないように配慮し、統一した対応を行っている		

## 5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修には内容に応じて月一回の研修日だけでなく、随時、職場の実務も含めた研修を実施している	○	職員の研修の実施状況は立派です。今後とも研修内容の個人管理をして、更なる向上をされることを期待します
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム ネットワークに参加して情報、意見の交換を行っている。相互訪問はまだ実施していない	○	同じような悩みを抱えている同業者として、情報交換の交流を進めて欲しい

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者だけでなく、ご家族にも納得していただけるように説明している。ただ、実際には空き部屋が出てくることはあまりないので、入居待ちの方が居られる状態である		
--	-------	---	--	--	--

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が出来ることは、職員は見守りだけとしている。そして、利用者職員が相互に助け合いながらの生活をしている		
--	-------	--	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	昨年からのモニタリングにセンサー方式を採用して、聞き取りと記入を行っている		
--	-------	---	---------------------------------------	--	--

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者一人ひとりのモニタリングの記録は、パソコンにその都度、取り入れられており、この記録を基に、ケアの改善を医師とも相談しながら進めている		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者一人ひとりの見直しは、見守り記録等を基に、必要な関係者の方々と変更を話し合い、改めて計画を作成している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者やご家族の要望に応じて、事業所の多機能を活かした支援を、適宜、行っている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師による月2回の往診を受けて、治療している		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化してきた場合のマニュアルにより、ご家族と話し合い、職員にも介護についての説明をして、方針の共有をしている		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシーの保護について、職員一同は十分に注意を払ってをり、資料類についても、特に配慮している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の業務の流れが職員サイドの優先にならないよう、利用者一人ひとりのペースを大切にすよう注意している		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけは、日々の状況によって出来る方に適宜、手伝ってもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>日常の業務進行を優先せずに、利用者の希望に成るべく浴うようにしている</p>

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>それぞれの楽しみも含めた、利用者の今までの生活を聞き出すことに職員が取り組み、少しずつではあるが把握出来てきたことを支援し、喜んでもらっている</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>買物などの外出希望に沿い、次第に利用者の要望に応じられるようになって来ている</p>

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>玄関に鍵をかけることのマイナス要素を理解し、鍵掛けはしていない</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>消防署職員の指導による避難のマニュアルも出来ている</p> <p>地元の方々との交流で、更なる安心が与えられるように希望します</p>

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>栄養バランスをよく考えて、一人ひとりの現状や習慣に応じた、カロリー、水分摂取量のチェックが出来ている</p>
--	----	----	---	--	---

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>4年前の新築建物なので、屋内の陽当たりも良く、遮光も配慮されている。その上、季節を思い起こす飾りを廊下・壁面にしている</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>利用者ごとに家具類を持ち込み、気ままに、居心地よく過ごしておられる</p>